

番号	5 - 11	申請者	診療放射線技師長 大井 邦治
【審査申請課題】 単純X線撮影において発生する再撮影低減に向けた知識やスキルアップに向けた支援策の提供			
【審査課題の概要】 単純X線撮影における再撮影の発生状況と要因分析から再撮影軽減に向けて排除基準を明確化にし、安易に再撮影をしないため必要な知識やスキルアップに向けた支援策を提案する。 X線撮影検査において発生する再撮影は、患者に不要な被ばくを伴うため、慎重に決定されるべきである。再撮影の発生数は数％といわれているが、近年のデジタル化の撮影システムの普及により再撮影が簡便に施行可能になったことや、排除基準の不明確化により、再撮影率が増加している可能性がある。また、現行の検像・放射線情報システムでは写損実数を反映していないため、正確な再撮影率を管理している施設は少ないと考える。そこで多施設間（大規模施設×3施設、中規模施設×3施設、小規模施設×3施設）における再撮影の現状や要因を調査・分析し、排除基準を明確化、安易に再撮影をしないためのノウハウやルール作り、再撮影検証カンファレンスの必要性和推奨の提案が可能になることが予想される。 当研究内容が推奨され利用可能となれば、再撮影による患者被ばくの低減だけでなく、九州地区国立病院機構施設間の撮影技術の向上や診療放射線技師の意識改善へとつながる。また研究内容が指標化され継続的な管理を行うための効果的な管理体制への構築となる。			
審査結果	条件承認（ 令和5年5月11日 ）		